

# JCA-NETセミナー

2023/7/27

## LibreOfficeを使う

小倉利丸

JCA-NET

[toshi@jca.apc.org](mailto:toshi@jca.apc.org)

# はじめに

今回主に取り上げるのはフリーソフトウェア/オープンソースのLibreOfficeです。最も普及しているマイクロソフト社のWord、Excel、Powerpointなどと同様の作業をこなすことができます。

日本語の公式ホームページは

<https://ja.libreoffice.org/>

概要の紹介

<https://ja.libreoffice.org/discover/libreoffice/>

# はじめに

LibreOfficeは以下の様々なソフトウェアの集合です

- LibreWriter: ワードプロソフト 文書作成
- LibreDraw: 図形描画。チラシなど図版と文章が混在するドキュメントの作成
- LibreCalc: 表計算ソフト
- LibreImpress: プレゼンテーションスライドの作成
- LibreBase: データベースの作成

など

# ダウンロードとインストール

## ソフトウェアのダウンロード

下記から、Windows、Mac、Linux版がダウンロードできます。

<https://ja.libreoffice.org/download/download/>

LinuxOS(Ubuntu、Debian、Fedoraなどのデスクトップ版)では最初からインストールされていると思います。

# ダウンロードとインストール

ダウンロードしたソフトウェアのインストール方法

以下お使いのパソコンごとに説明があります。

Windows

<https://ja.libreoffice.org/get-help/install-howto/windows/>

Mac

<https://ja.libreoffice.org/get-help/install-howto/windows/>

Linux

<https://ja.libreoffice.org/get-help/install-howto/windows/>

# ダウンロードとインストール

- 使い方の「コツ」や習慣は人それぞれ。
- 「使い方が分らない、迷った」というとき
  - 検索してネット上の情報を収集する(なるべく新しい記事を探す。複数の記事を比較する)
  - 「ワード」「パワポ」と同じ動作で同じことはできない→基本をある程度把握する
  - MS Officeでできたのになぜ出来ないのかと比較しても解決策はみつからない。→どうしてもうまくいかないときは、代替案を工夫する

# ダウンロードとインストール

## 参考になるサイト

LibreOffice ヘルプ

[https://help.libreoffice.org/latest/ja/text/shared/05/new\\_help.html](https://help.libreoffice.org/latest/ja/text/shared/05/new_help.html)

Document Foundationによるマニュアル

<https://documentation.libreoffice.org/ja/documentation-in-japanese/>

JA福岡市のマニュアル

<https://www.ja-fukuoka.or.jp/libre/>

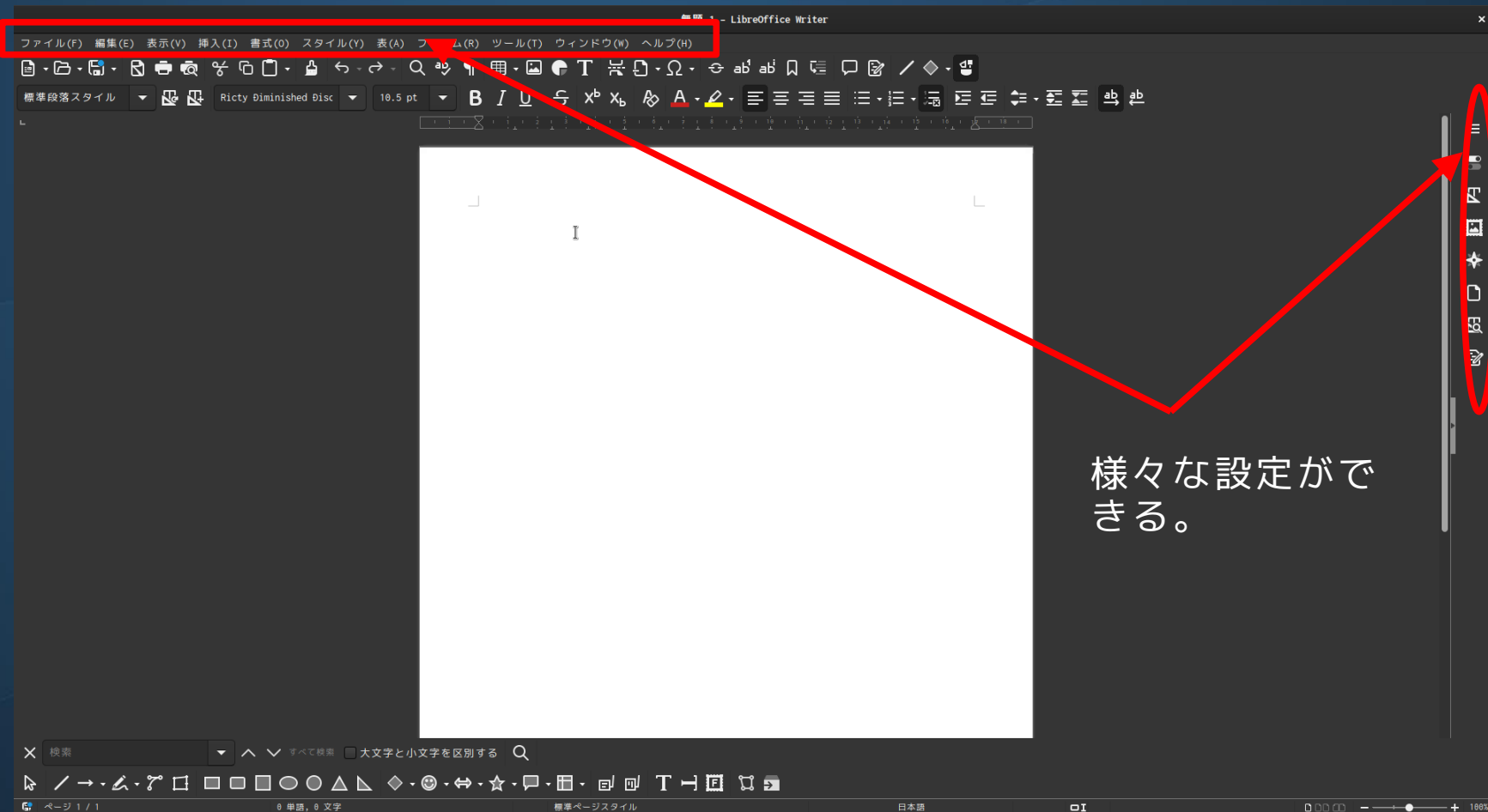
OSS( Open Source Software )でいこう!!

<https://openoffice3.web.fc2.com/index.html#gsc.tab=0>

白くま君のリブレオフィス塾

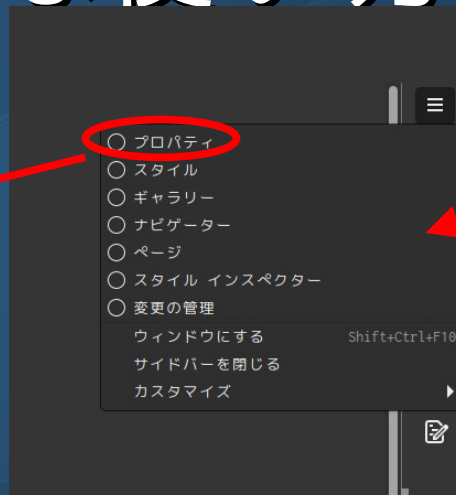
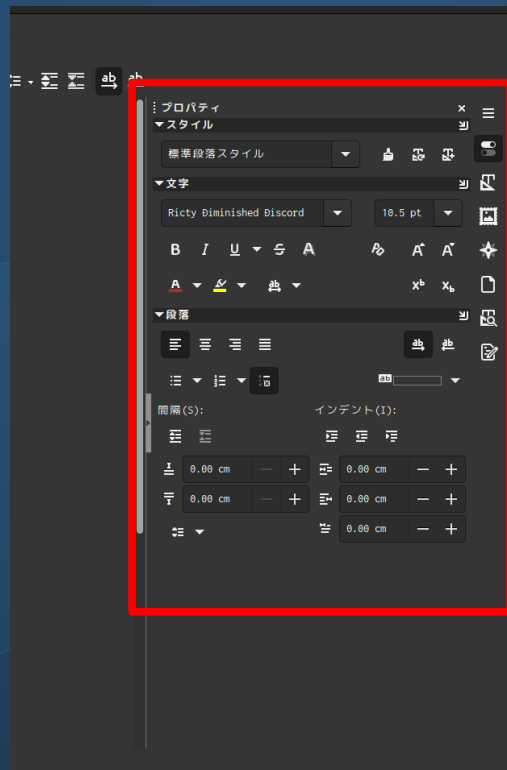
<https://libre-juku.shirokuma-kun.com/>

# 基本的な使い方





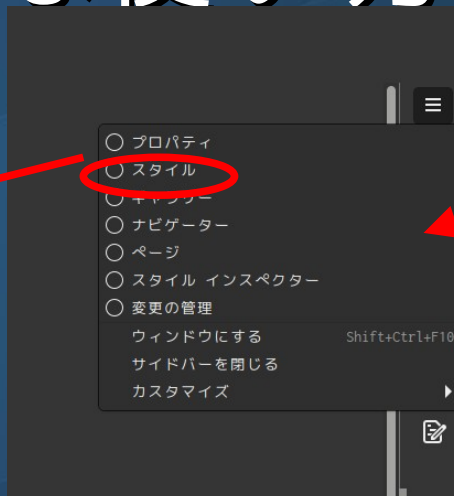
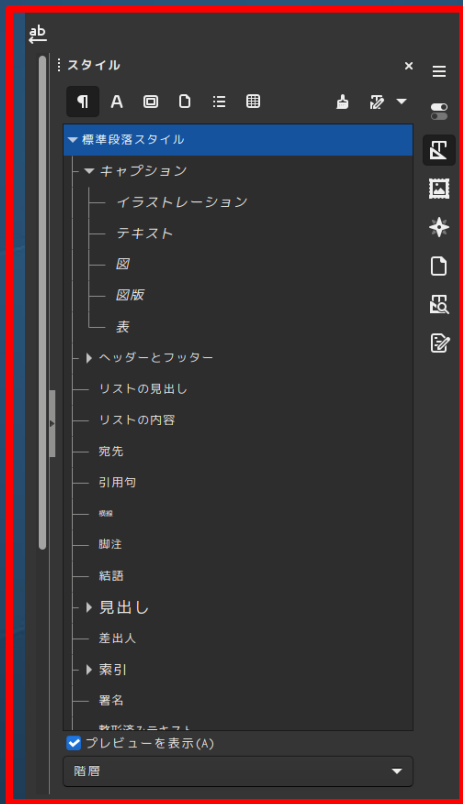
# 基本的な使い方



プロパティを選択すると左のような詳細設定の画面が表示される。



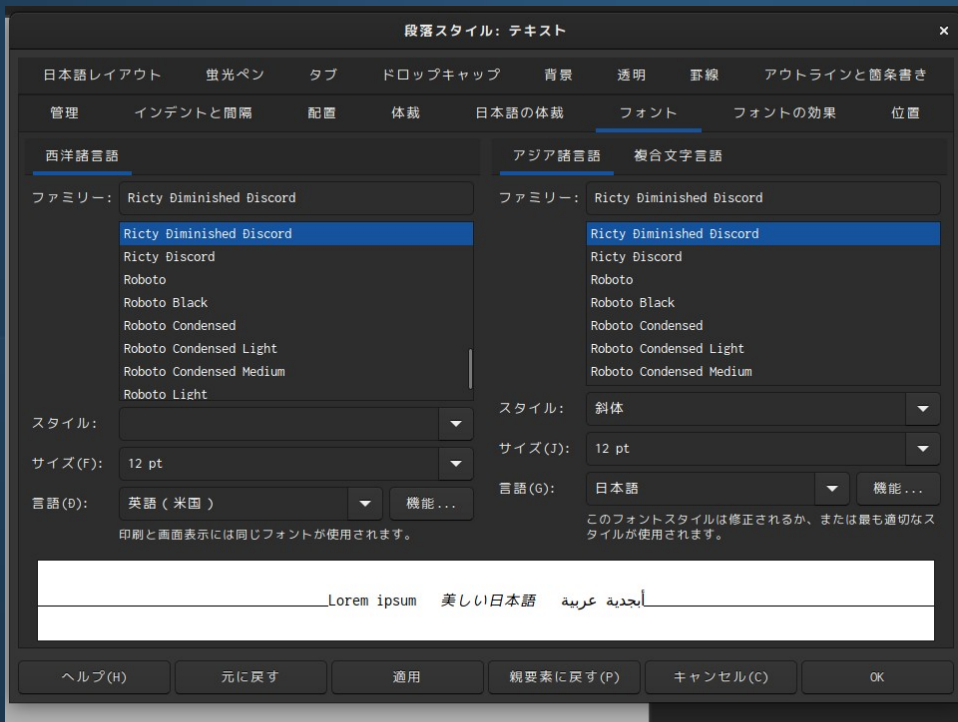
# 基本的な使い方



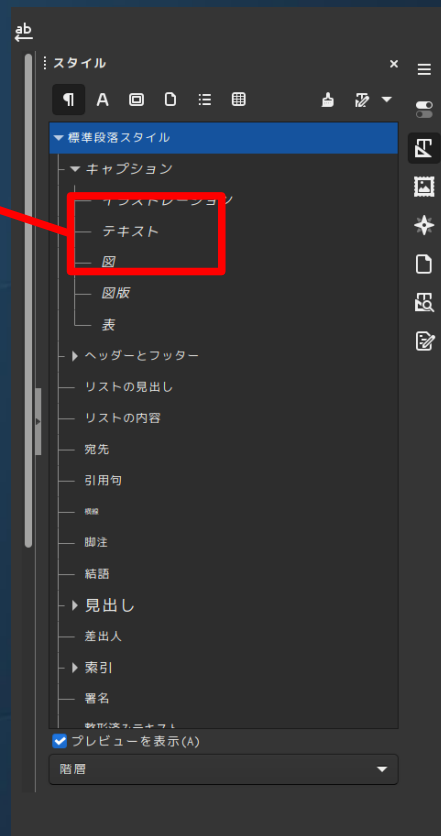
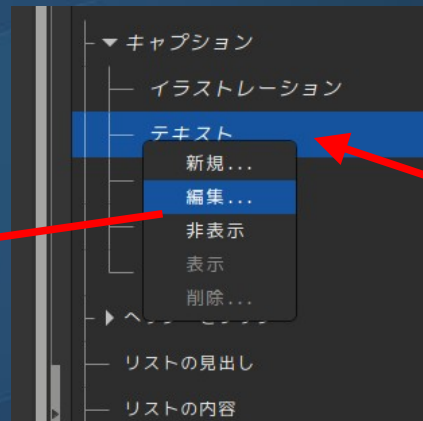
スタイルを選択すると左のような詳細設定の画面が表示される。ここで、文字のフォントや大きさなどの設定ができる



# 基本的な使い方

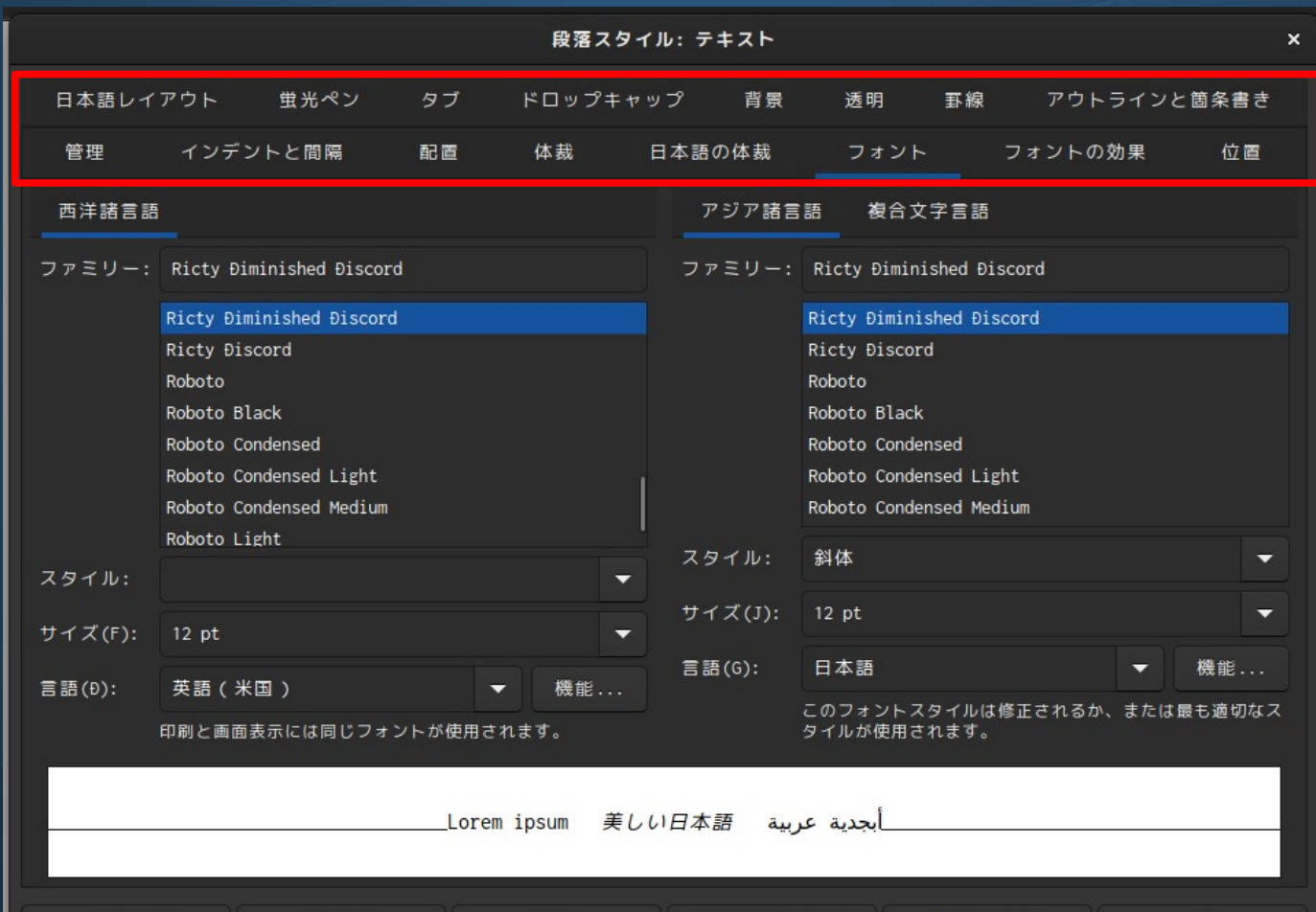


「編集」をクリックすると上図のような設定画面が表示されます。ここで必要な設定をします。



たとえばテキストのスタイルを変更したいときは、「テキスト」をポインタで選択してマウスを右クリック。上図のような選択が表示されるので「編集」を選択します。

# 基本的な使い方



左図はフォントの設定画面です。(上の赤枠のメニューのなかの「フォント」が選択されています)

英語などの「西洋諸言語」を左欄で設定し、日本語は右欄の「アジア諸言語」で設定します。

- 左図の例では日本語のスタイルが「斜体」になっていると、文字を入力すると自動的に斜体で入力されます。
- サイズが西洋諸言語とアジア諸言語で違う設定になっている場合もあるので確認すること

# わざわざLibreOfficeを使う理由

MS Officeを使う理由は、たぶん以下のどれかでしょう。

- Windowsを購入したら最初からインストールされていた。
- 仕事でもプライベートでも共通のツールになっている。
- 使っているうちに、慣れてきた。
- わからないことがあれば誰かに聞けば教えてもらえる。



わざわざLibreOfficeを使う意味がわからん。MS Officeでいいじゃん!!

# わざわざLibreOfficeを使う理由

「LibreOfficeは自由ソフトウェアでありオープンソースソフトウェアです。誰でも利用はもちろん、コピーして共有したり、ソースコードを修正、改善できます。LibreOfficeは何百万人もの人々が参加する世界的なコミュニティによって作られています。そして、LibreOfficeは大規模かつ献身的なユーザーのコミュニティによって日々、利用され、テストされています。」

機能比較:LibreOffice - Microsoft Office

[https://wiki.documentfoundation.org/Feature\\_Comparison:\\_LibreOffice\\_-\\_Microsoft\\_Office/ja](https://wiki.documentfoundation.org/Feature_Comparison:_LibreOffice_-_Microsoft_Office/ja)

# わざわざLibreOfficeを使う理由

FLOSS（フロス）は、Free/Libre and Open Source Softwareの頭字語

- フリーソフトウェア
- オープンソースソフトウェア

自由ソフトウェアという語は1980年代に、自由ソフトウェア運動の創始者であるリチャード・ストールマンにより創られていた。

他方で、開発者を一般に募ったり、ソフトウェア間でのソースコードの利用を推進したりするという目的において、ソフトウェアのソースコードを開示することに関心をもつ企業などが現れた。しかし、フリーソフトウェア運動は特許権や著作権などの知的財産権による独占を否定する社会変革運動である。そのため、知的財産権による保護に基づいて事業を展開する多くのソフトウェア関連企業や、デバイスドライバの内容を知的財産権によって秘匿しているハードウェア関連企業などにとっては、自由ソフトウェアの概念は容認され得ざるものである。そこで、ソフトウェア開発手法としての概念であるオープンソースという語が1998年に創られた。すなわちオープンソースという概念は、自由ソフトウェアがもつ社会変革思想を措いたものである。したがって、オープンソースの語は、多くの企業に広まり、マスメディアにもしばしば積極的にとりあげられるようになった。



## 安倍晋三内閣総理大臣との働き方改革についての意見交換について

2017年6月8日 | News Center

[2017年6月8日]

安倍晋三内閣総理大臣と当社 代表取締役 社長の平野拓也が、日本における働き方改革推進に関して意見交換させていただきました。

当社は、日本政府の推進する働き方改革に全面的に賛同しており、今後も連携を一層進め、日本における働き方改革推進への貢献を目指します。



左は2017年にマイクロソフト日本法人の社長平野拓也と安倍晋三が会見した模様を報じたマイクロソフト社の報道資料。

マイクロソフト社は、当時の安倍政権の「働き方改革」に「全面的に賛同」を表明した。

他に代替手段がないならともかく、他の選択肢がありえるのであれば、可能なところで、自分の価値観やライフスタイルと相性のよいツールを選択すること、そしてそのための努力をちょっとだけすること、が必要ではないかと思います。